

≪今週号の主な内容≫

■先週・今週の報道発表

RPPC に関連する発表は、特にございませ

■RPPC 事務局からのお知らせ

循環資源技術説明会の開催について（ご案内）申込 9 月 2 日まで

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾議連が第 2 次補正予算、ならびに 29 年度概算要求  
テーマに総会
2. 高レベル放射性廃棄物の沿岸部海域の地層処分（経産省）
3. 秋田港等の整備促進と県内港湾における津波対策への支援要望

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

循環資源技術説明会の開催について（ご案内）

下記のとおり技術説明会を開催します。※申込期限 9 月 2 日（金）  
詳細については、添付ファイルをご覧ください。

技術説明会は国や港湾管理者等の担当者を対象としていますが、  
一般会員の方の参加も可能です。添付の参加申込書に所定事項を  
ご記入の上、申し込みください。

日時：平成 28 年 9 月 12 日（月）13：30～16：30  
場所：JMS アステールプラザ（広島市中区民文化センター）  
4F 大会議室

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾議連が第 2 次補正予算、ならびに 29 年度概算要求  
テーマに総会

自由民主党の港湾議員連盟（望月義夫会長）は 8 月 26 日、党本部  
で総会を開き 28 年度第 2 次補正予算、ならびに 29 年度概算要求につ  
いて議論した。28 年度第 2 次補正予算では港湾整備事業として国費 4  
0 5 億円が計上されており、大型クルーズ船の受入を初め政府が港湾  
関係政策を大変重要視していることの表れとして、これに応じていけ  
るよう港湾議連として取組む。また 29 年度概算要求では港湾整備事  
業に国費 2 6 8 7 億円（対前年比 1・1 6 倍）、港湾海岸事業 1 1 4  
億円（1・17 倍）を要望しており、港湾議連としてその満額確保に向  
けて活動していくことなどを申し合わせた。そして大型クルーズ船受  
入施設や国際戦略港湾の推進など、施策実現に必要な所要予算の確保  
を内容とする「港湾整備・振興に関する決議」を行った。

開会にあたって望月会長は、「港湾は地域経済にとって極めて重要なインフラであり、政府が掲げている地方創生も港の発展なくしてあり得ない。必要な港湾整備のための予算を確保することは、我が国の将来を決めることになる」と述べ、港湾関連予算確保に向けた取組の重要性とそれに向けた会員、関係団体の協力を呼びかけた。

【港湾空港タイムス】

---

## 2. 高レベル放射性廃棄物の沿岸部海域の地層処分（経産省）

経済産業省は高レベル放射性廃棄物の最終処分場先として、沿岸部海域の地層処分に関する「沿岸海底下等における地層処分の技術的課題に関する研究会」の検討結果を公表した。

地層処分を行うために必要な基本的技術は概ね確立しており、その実現可能性はあるとし今後も技術の高度化やデータ等の拡充を進め、更に信頼性を高めることが重要、としている。海底地層処分のイメージは、工学的対応の観点から海岸線から15km以内、海底下300m以降に地下施設を設置し処分する。

【港湾空港タイムス】

---

## 3. 秋田港等の整備促進と県内港湾における津波対策への支援要望

秋田県は7月にまとめた「国の施策・予算に関する提案・要望書」に環日本海交流の拠点となる秋田港等の整備促進と県内港湾における津波対策への支援を盛り込んでいる。

提案・要望の内容は、▽環日本海交流の拠点である秋田港やエネルギー供給の拠点である能代港等について、通年で安定した船舶の入港を可能とするため、防波堤の整備や能代港大森地区泊地（マイナス13m）の予防保全事業の促進に必要な国直轄事業予算の確保、▽秋田港、能代港に計画中の港湾内洋上風力発電施設に関連し、港湾の安定的利用を阻害することのない施設とするために必要な技術的支援、など。

また、提案・要望の背景や県の取組として、秋田港は環日本海交流の重要拠点であり、石炭火力発電所の誘致などによる産業振興など企業の進出に必要な環境整備が急務。このほか能代港では能代火力発電所3号機の建設が始まるなど、今後更なる港湾物流の増加が見込まれている、などとしている。

【港湾空港タイムス】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司      新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣      五洋建設（株）

木村 竜也      東京都

梅木 重光      （株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆      光和精鉱（株）

新谷 聡      りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菅木

URL：[www.rppc.jp](http://www.rppc.jp)      E-mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

////////////////////////////////////

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。

平成28年 7月 20日

関係者各位

リサイクルポート推進協議会

リサイクルポート推進協議会 循環資源技術説明会の開催について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜びを申し上げます。

さて、リサイクルポート推進協議会（RPPC）（※）では、港湾・空港等整備において、リサイクル製品（無機系循環資源）の活用を促進するため、循環資源利用促進部会を設置し、リサイクル製品の特徴や使用実績等をまとめた「リサイクル製品便覧」を作成し、普及・広報活動を行っています。

また、国土交通省港湾局は、平成27年12月に、「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン」を改訂し、港湾整備事業等においてリサイクル製品の利用促進を図ることとしております。

これらを背景として、リサイクルポート推進協議会では、国や港湾管理者等の港湾・空港等整備に携わる担当者を対象として、「循環資源技術説明会」を開催することといたしました。

最近のリサイクル製品技術、材料開発の状況、活用事例等を報告する機会として下記のとおり説明会を開催しますので、多数のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

※ リサイクルポート構想を推進するための官民共通のプラットフォームとして、民間団体や民間事業者、リサイクルポートに指定された港湾管理者と関連する地方自治体を会員とする任意団体。

記

1. 開催日時及び場所

日時：平成28年 9月12日（月）13：30～16：30

※プログラムについては、別添資料を参照下さい。

場所：JMS アステールプラザ（広島市中区民文化センター）4F 大会議室

住所：〒730-0812

広島市中区加古町4-17

TEL：082-244-8000

2. 問合せ先

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団 もとの本野、ちさき清水、ちさき菅木

TEL：03-5408-8296 FAX：03-5408-8741

E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

# 平成28年度 第1回

## リサイクルポート推進協議会 循環資源技術説明会プログラム案

リサイクルポート推進協議会  
循環資源利用促進部会

日 時：平成28年 9月12日（月）13：30～16：30

会 場：JMS アステールプラザ（広島市中区民文化センター）4F 大会議室

【プログラム】	所用時間（分）
(1) ごあいさつ リサイクルポート推進協議会 循環資源利用促進部会長 鉄鋼スラグ協会 技術部長 東 和彦	(5)
(2) 鉄鋼スラグを用いた海域環境修復技術および地盤改良技術について 新日鐵住金の事例紹介（カルシア改質技術、エコガイアストーン）（仮称） 新日鐵住金(株) スラグ・セメント事業推進部市場開拓室	(30)
(3) 鉄鋼スラグを用いた海域環境修復技術および地盤改良技術について JFE の事例紹介（水和固化体、底質浄化技術）（仮称） JFEスチール(株) スラグ事業推進部	(25)
(4) 港湾・空港工事における非鉄スラグ利用技術について（仮称） 日本鋳業協会 スラグ委員会	(25)
(休 憩)	(15)
(5) 石炭灰活用について（仮称） 日本フライアッシュ協会	(25)
(6) 溶融スラグ再資源化の現状について（仮称） （一社）日本産業機械工業会	(25)
(7) 全体を通じた質疑	(30)
(閉 会)	

FAX送付先：リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団 もとの本野、ちさき清水、むぎき菅木

FAX : 03-5408-8741

## リサイクルポート推進協議会 循環資源説明会 FAX申込書

### 【日時】

平成28年 9月12日(火)

13:30 ~ 16:30

### 【会場】

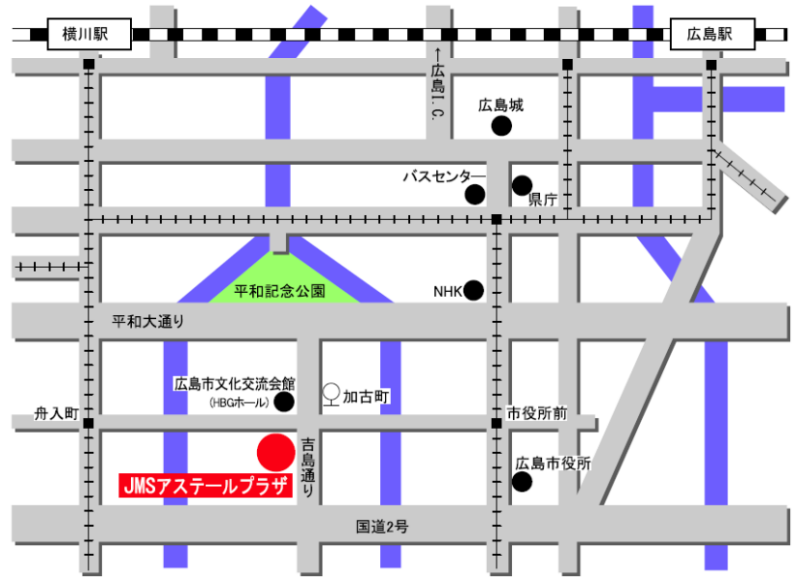
JMSアステールプラザ4F 大会議室  
(広島市中区民文化センター)

〒730-0812

広島県広島市中区加古町 4-17

TEL : 082-244-8000

### 交通案内



### 【参加者記載欄】

下記に必要事項をご記入の上、**9月2日(金)までに**

FAX (03-5408-8741) またはメール ([rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)) にご返信下さい。

貴団体名		
(代表者)	ご所属・ご役職	
	ふりがな 氏 名	
参加者	ご所属・ご役職	
	ふりがな 氏 名	
	ご所属・ご役職	
	ふりがな 氏 名	
ご住所		
TEL		
FAX		